

オリエンテーション委員会計画

委員長 重原 稔
副委員長 飯吉 弘晃
副委員長 竹田 敏一
幹事 山崎 貴行

【基本方針】

社会を構成し、また社会に支えられている人間は、元来その社会に対する使命を持っているはずで、社会のより良い向上を目指し、次世代に繋げていく事。それは「まちづくり」であり、「ひとづくり」であると言えます。それらは実はJAYCEEである前に一人の人間として取り組むべきである事を、それぞれがしっかりと再認識する必要があると考えます。ただ我々は、その当然やるべき使命を率先して行う姿を地域に対して示し、想いと行動によって推進していくためにこの組織の一員になっているのです。

まずは新入会員に、その意識と覚悟を持ってもらうために「まちづくり」「ひとづくり」に対する洞察を深めてもらいます。この地域の課題、解決策とその意義をそれぞれが考え、使命感を持って委員会において議論を重ね、この組織の一員になった意味を認識してもらいます。また体感し、より一層の理解を深めるために様々な事業に積極的に参画します。考え抜き、学んだ成果を示す機会を目標に一人ひとりの問題意識と志を高めます。また「まちづくり」を行う上で重要な事は、我々が行動し何かを成していく事と共に、行動している我々の凛然たる姿や熱い想いを地域に示し、地域の意識を変革する事であるため我々の言動・姿勢が大切であり、常に会員資質の向上を目指す必要があります。そして「ひとづくり」をする上では、当然ながら手本となる人財でなければそれを成す事は出来ません。一人の大人として・一人のJAYCEEとして、地域や次代に対する手本となる様な立ち居振る舞いの出来る人材育成を致します。切磋琢磨し、また助け合える関係を築く事で互いに誇れる仲間となり、真の友情が生まれます。その仲間と共に、志を持って行動する事の意義を実感出来る事業を実施して、それぞれが成長し、かけがえの無い友情を築きます。

意識と覚悟、手本となる立ち居振る舞いを身に付けたメンバーは仲間からの信頼を得る事が出来ます。信頼は友情に繋がり、組織に対する大きな力になると考えます。一年間の活動の中で、この先の上越JCを支え、牽引していく人財を育成します。その結果一年間を終えた時、メンバー全員が地域における原動力となり得る人財となります。

委員会職務分掌<事業内容>

1. 「クリーンナップ上越」の実施
2. 「OB交流会」の担当
3. 委員会活動の成果を示す事業の実施